

3 妊娠期から子育てまでの包括的な支援体制の強化

健康福祉課内に子育て世代包括支援センターを
設置。

■在宅子育て応援事業補助金 1925万円

県が取り組んでいる特定不妊治療への助成に乗せをする不妊治療補助金40万円を予算化し、経済支援および安心して治療を受けられる環境づくりを行うための予算。

■乳幼児医療助成事業 1151万円

■小中学生医療助成事業 1498万円

■不妊治療補助金 40万円

4 あったかふれあいセンターを拠点とした地域社会の構築

6カ所のあったかふれあいセンターを地域の小さな拠点とし、社会福祉協議会や民間の医療・福祉機関との連携を図りながら、生活支援、福祉サービス、予防介護・医療の取り組みを二層強化充実させていく。集落活動センターには、4カ所全てに集落支援員を配置し、地域の自立を支援できる仕組みを構築する。

■あったかふれあいセンター事業 7190万円

■集落活動センター事業 872万円

こぶし、さが、白田川、北郷、にしきの広場、みうらの6事業所運営委託費。

佐賀北部、であいの里、蜷川、北郷、かきせの支援費。

5 自分の人生を切り開く力を醸成し、心を育む教育の推進

基礎学力の向上を図り、ふるさとを愛し地域に貢献意識を持てる子ども達の育成などを目指し、予算を計上した。

基礎学力の向上

■各種検定受験料補助金 173万円
中学生、大方高校生が、漢字検定、英語検定を受験する際の受験料を補助。

外国語教育専門員

294万円

■ふるさと・キャリア教育 404万円

ふるさとの産業や地域の文化や食材などを知り深めるためのもの。

学校支援員配置事業

2437万円

授業中及び放課後に補充学習をする支援。各校各1名以上で15名分。



ふるさと教育の一環
サーフィン体験（三浦小学校）



キャリア教育の一環
サトウキビ体験（南郷小学校）

高校支援 魅力化目指した取り組み

■公設塾運営業務委託

649万円

大方高校で、令和2年度から町内在住の高校生、1、2年生を対象に、学力向上を目指して取り組んでいるもの。

週2回、英語、数学の授業を行っている。

委託先

株式会社 土佐塾

■大方高校女子サッカー指導等委託

200万円

スポーツ振興のため、一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブと提携し、指導を受けている。



公設塾で学ぶ町内の高校生（大方高校）



指導を受ける女子サッカー部（大方高校）